

1. 会社の設立・開業

- (1) 会社を設立することにした山根さんは、開業のための資金を10人から一人あたり100,000円を出資してもらい、1,000,000円をもとに会社を始めることにした。

- 現金 1,000,000円増加とともに資本金 1,000,000円増加

貸借対照表	
現金	資本金
1,000,000	1,000,000

損益計算書	

- (2) 開業のための予算を計算すると備品の購入に500,000円、商品の仕入に1,000,000円がかかることがわかった。足りない500,000円は銀行から借りることにした。

- 現金 500,000円増加とともに借入金 500,000円増加

貸借対照表	
現金	借入金
1,500,000	500,000
	資本金
	1,000,000

損益計算書	

- (3) 必要な備品を購入し、500,000円を支払うとともに、商品1,000,000円分(@1,000×1,000個)を仕入れ、@1,000円で仕入れた商品は、@2,000円で販売することにした。また、バイトを一人雇った。

- 備品 500,000円増加とともに現金 500,000円減少
- 商品 1,000,000円増加とともに現金 1,000,000円減少

貸借対照表	
商品	借入金
1,000,000	500,000
備品	資本金
500,000	1,000,000

損益計算書	

- (4) 開業して1ヶ月が過ぎ、@2,000円で800個を現金で販売することができた。

- 売上 1,600,000円発生とともに現金 1,600,000円増加
- 商品 800,000円減少とともに売上原価 800,000円発生

貸借対照表	
現金	借入金
1,600,000	500,000
商品	資本金
200,000	1,000,000
備品	利益
500,000	800,000

損益計算書	
売上原価	売上
800,000	1,600,000
利益	
800,000	

- (5) この時点で、儲け(利益)は(④)円だった。

- (6) 銀行から借入れた500,000円の利息5,000円(1ヶ月分)を現金で支払った。また、1ヶ月のバイト代として、60,000円を現金で支払った。利息や給料を考慮した儲け(利益)は(⑤)円だった。

- 支払利息 5,000円発生とともに現金 5,000円減少
- 給料 60,000円発生とともに現金 60,000円減少

貸借対照表	
現金	借入金
1,535,000	500,000
	資本金
	1,000,000
商品	
200,000	
備品	利益
500,000	735,000

損益計算書	
売上原価	売上
800,000	1,600,000
給料	
60,000	
支払利息	
5,000	
利益	
735,000	

テーマ	ガイダンス	解説
-----	-------	----

(7) 利益の半分を出資してくれた10人に (⑥) 円ずつ均等配分した。

・利益 367,500 円がなくなるとともに現金 367,500 円減少

貸借対照表

現金	1,167,500	借入金	500,000
商品	200,000	資本金	1,367,500
備品	500,000		

問1. (④) ~ (⑥) の金額はいくらですか。

問2. (6) 時点の財政状態 (何がいくらあるか) と経営成績 (いくら儲けたのか) を示す表を作成してください。

問1

④	800,000	⑤	735,000	⑥	36,750
---	---------	---	---------	---	--------

問2

(6) 時点の貸借対照表と損益計算書を作成してください。

貸借対照表

現金	1,535,000 円	借入金	500,000 円
		資本金	1,000,000 円
商品	200,000 円		
備品	500,000 円	+ α (利益)	735,000 円

損益計算書

売上原価	800,000 円	売上	1,600,000 円
給料	60,000 円		
支払利息	5,000 円		
+ α (利益)	735,000 円		